



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 65 号
2018年10月20日
編集兼発行人
谷口 正俊

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



月山寺の紅葉

撮影者：岡崎 稔

撮影日：平成 29 年 11 月 21 日

カメラ：キャノン SX50HS

S 速度 1/320、絞り f4、焦点距離 22mm

撮影場所：茨城県桜川市

撮影余話：もみじの紅、銀杏の黄、渦巻状の砂紋が描かれた庭園、1200年の歴史と風格を感じる本堂が良く調和している。午後になると楓が木陰に入るので午前中がお薦め。境内は他にも紅葉の木があり静かな散策が楽しめる。時間に余裕のある方は隣接の美術館を見学されたら良い。隣の笠間市出身の日本画家木村武山の作品が展示されている。

リレー随筆 (65)

支部便り創刊号と東暁館の思い出 江川 仁



平成 11 年に小平記念館内に、茨城支部事務局の開設以来約 9 年間事務局員を担当しました。平成 14 年に全社友クラブの新体制がスタートし、これに併せ茨城支部も同好会活動を含め新規約を制定し、荒井利治氏を支部長に迎え、現在に至る新体制が充足しました。この年に会員相互の連携と親睦を深める一助として、機関誌支部便りが誕生しました。創刊号は由緒ある東暁館別館内で、編集委員各位の努力と皆様の協力を得て発刊されました。あれから 16 年が過ぎ当時の事が懐かしく思い出されます。

一、創刊号発行当時の思い出

創刊号の編集委員は、嶋野・梅津・山田・渡部の同期入社の各氏と澁口・小松・宮西の各氏で経験豊富な方々にお願ひしました。その後編集委員には安田・谷中の各氏を始め多くの方に参加していただきました。

各機関誌を参考にしながら、題字・ロゴの作成に始まり構成内容の検討、原稿の依頼・校正等試行錯誤の連続でした。ロゴ・題字関係はパソングループMM会の方々により、立派な作品を作成していただきました。



2007 年当時の編集委員
後列：渡部, 澁口, 嶋野, 梅津, 安田
前列：山田, 江川, 小松, 谷中

大きな問題は用紙と印刷でした。用紙は、両面印刷可能な用紙の調達が難しく、街の紙専門店にて用紙を切断して貰い準備し、印刷も現在のようにカラーコピ

一が普及しておらず、コストも高価でしたので悩みました。結局創刊号は、カラー印刷は一部で、会員の皆様には白黒印刷で配布となりました。印刷は、日立工場庶務課の土日の未使用時間帯に利用させて貰い、当時の庶務課桑名主任の協力を得て印刷しました。完成後の配布は各地区の配布協力者を募り、できる限りの手渡し配布で郵送費の低減を図りました。その後両面カラー印刷機を東暁館別館に導入いただき、自前での印刷が可能となり助かりました。但し印刷機の手回しが遅く、編集委員が付き切りで 1 枚 1 枚の長時間の作業でした。同好会の方にもお手伝いいただき、封筒詰から発送までは多くの皆様の協力をいただきました。

二、東暁館の思い出

東日本大震災の被害を受け現在は更地になっておりますが、東暁館は支部活動に忘れられない場所です。別館は、明治 33 年木造作りの建屋で、部屋には明治の元勳井上馨侯がご視察に訪れた際に、小平創業社長が撮影されたと言う写真額が飾られ、欄間等も古風豊かな歴史ある部屋でした。この場所を編集会議・パソコン・デジカメ・囲碁等社友クラブの活動拠点として利用させて貰いました。本館は、役員会等で利用した憩いの場所でした。良く手入れされた美しい庭で、太平洋と 6 号バイパスが目前に眺



東暁館別館屋内の写真
(2011 年 7 月)

められた。また庭には後水尾天皇が、その美しさに、もう一度見たいと御車を引き返し眺めたと言う逸話から、「御車返しの桜」と言われ、一重と八重の花が同じ枝に咲く極めて珍しい桜がありました。近くを通る度に、思い出深い東暁館の懐かしさがこみ上げて参ります。

水彩画を楽しみ、いつの間にか20年

《日立理科クラブとの2足の草鞋で生き甲斐も倍增》

鈴置 昭



60年ぶりの再会

昨年、母が97歳で他界した。しばらく空き家になっていた実家を整理してくれた妹から、遺品の中にこんなものがあったと一枚の絵が送られてきた。私が中学2年の夏休みに制作した貼り絵で、イギリスの詩人バイロンの肖像の模写である。しばらく中学校の職員室あたりに飾られていたものを妹が持ち帰ったものという。私にとっては60年ぶりの再会であり、制作時の記憶がよみがえった。教科書に載っていたモノクロのポートレートを参考にして、母親からもらった様々な色柄の端切れを切り刻んで、画用紙に貼り付けた。これが手元に残る子供の頃の唯一の作品となった。



中学2年の作品

56歳で教室入門

有難いことに55歳になると、日立では定年に備えたセミナーを実施してくれました。中でも最も印象に残ったのは「2定年になつてから趣味を探すのは手遅れだよ」という言葉だった。昔取った杵柄で、絵でもやってみようかと自己流で淡彩スケッチを描き始めたが、明らかに進歩がない。そこで、56歳のときに日立市宮田町のアトリエ・ド・エリスに入門し、津軽石先生の指導を受けるようになった。当初の計画では、現役の間は手軽に取り組める水彩画を、リタイアしたら油絵に転向するつもりだった。しかし、いったん水彩画を始めてみるとなかなか奥が深く、途中でやめられず、いまだに水彩画を描いている。

画業20年

このところ毎年10回ほどの展覧会に出展しているが、公募展への出展は主に日立市展、茨城県展、水彩連盟展の三つである。グループ展の作品は気軽に制作できるが、公募展では入落選や受賞が伴うので、入念な準備が必要となる。小下絵、中下絵、本番の三工程をかけることが多く、そのため、自分の作品が受賞したときの喜びはまた格別である。幸いなことに、これまで、後に示す5つの公募展で14の賞をいただくことができた。中でも、後期高齢者となった平成29年は私の画歴の中でも特記すべき年となった。

ゴッホとの出会い
昭和33年、浜松北高校1年の秋のことである。私は東京国立博物館前の「ゴッホ展」の開館を待つ長い行列の中にいた。美術部顧問の先生の引率のもと、10名ほどの部員が前夜の浜松駅から夜行列車に乗り込み、ほとんど一睡もできぬままに上野の美術館に着いた。展示はオランダのクレラー・ミュージアム美術館の所蔵作品を中心とした130点。有名な「自画像」や「アルルのはね橋」、「夜の咖啡馆」などが印象に残った。ゴッホとの初めての出会いであり、『絵といえれば印象派』が刷り込まれた瞬間だった。

成29年は私の画歴の中でも特記すべき年となった。4月の水彩連盟展(六本木国立新美術館)に出展した「みずかげ」が会員特別賞(損保ジャパン日本興亜美術財団賞)に選ばれたのだ。この作品はフランスの片田舎、かつてモネが住んでいたジヴェルニーの風景で、川の流れる先にモネの睡蓮の池があると想像しながら描いた。東京の展覧会には多くの友人、知人に観ていただし、それに続いて名古屋、大阪の巡回展にも出展した。名古屋では毎年、高校の同級生に観てもらっており、この年は本人も出かけて行って旧交を温めた。

さらには、9月の茨城県美術展(水戸県民文化センター)に出展した「秋景」も会員賞(茨城新聞社賞)一席に選ばれた。かつて住んでいた日立市小咲台団地の奥の風景である。この一帯は冬の枯れの佇まいが素敵で、散歩がてらによく取材したものである。



茨城県美術展会員賞「秋景」



名古屋巡回展で同級生と(筆者は右から二人目)

個展もこれまで日立シビックセンターギャラリーにおいて3回開催した。会場が広いので、40〜50点の作品が必要であり、5年に一度くらいのペースでしか開催できない。毎回多数の来場者があり、励ましの言葉をかけていただいている。また、私の絵を見て水彩画を始められたという方にもお会いした。嬉しい限りである。20年間も絵を続けてこれたのは、まずは家族の理解と支援があったことが第一だろう。友人、知人からも温かい心遣いをいただいた。また、折々に戴いた公募展の受賞も大きな励みとなった。

水彩画と理科教育では使うスキルも付き合う仲間も全く異なるが、この二足の草鞋が生きて甲斐を倍增させてくれていることは確かである。

鈴置 昭氏 連絡先
〒312-0052 日立市東石川1286
電話 029-275-2262
メール: suzuki.taki0613@yahoo.co.jp

主な受賞歴
水彩連盟展・会員特別賞他3件
茨城県美術展・会員賞他4件
日立市展・市長賞他1件
国文祭展・茨城県近代美術館賞
黄門の里絵画展・奨励賞2件

二足の草鞋
63歳でリタイアした頃、(日)原子力の仲間とエネルギーや環境問題を考える「ひまわり」の活動を始めた。その後、これが下地となり「日立理科クラブ」が発足し、私は「理数アカデミー・理科クラス」を担当している。25名ほどの仲間と一緒に科学者や技術者の卵を育てる活動だ。毎年、30〜40名の小中学生が応募してくる。昨年からは、東京大学との連携で「ジュニアドクター育成塾」も併設し、授業の質的向上にも取り組んでいる。

同好会行事に参加して



「研修会」

小野瀬 秀夫

現在「歩こう会」世話人として、ルートを選定し、実施しております。色々な行事と重複しない限り研修会には極力参加をしています。

研修会では、第69回のつくば研究学園都市の土木研究所、国立公文書館筑波分館、筑波宇宙センター、そしてサイバーダイナスタジオといった盛りだくさんの企画が大変印象に残りました。土木研究所では、広大な敷地に60余りの実験設備をもって、道路、橋、ダム、河川などの技術研究をしており、日立と異なる土木技術にも関わらず、会員から多くの質問が出され印象的であった。国立公文書館では、大日本憲法、戦争終結に関する詔書などの展示には大きな感銘を受けた。「筑波宇宙センター」においては、展示品、ビデオによる説明を聞いて、日本の宇宙開発のレベルの高さを改めて認識し、感銘を受けました。

研修会の参加者が最近減っていると聞いておりますが、今後とも魅力ある企画を期待し、研修会に参加したいと思います。



「卓球クラブ」

志村 辰男

私の卓球始めは高校時代、校舎の踊り場の卓球台でわいわい言いながら楽しむわゆる“温泉卓球”でした。その後数十年を経て会社生活も一段落し何か運動をということで昨年7月同好会に入会しました。仲間には米寿、喜寿の方をはじめ、過去に本格的に鍛えられたハ

イレベルの方もいます。「卓球は足さばき」、「腕ではなく体で打つ」、「球から目を離さない」など練習で諸先輩から“温泉卓球”の私に繰り返しいただいたアドバイスです。親切に根気強くご指導いただき次第にボールについていけるようになりました。

今年に入ってから6回程地域の試合に参加しました。最初は相手が小中学生でも、完敗の連続でしたが、チームメイトの温かい支援で最近では何とか勝てるゲームも出てきました。練習と試合の程良い緊張と達成感は退職後の人生に新風を送り込んでくれました。



「PC基礎講座」

丸山 松雄

実は私はPC基礎講座受講者の最古参の一人です。基礎講座は平成15年1月に開催された“PCなんでも相談”を元に同年4月に始まり、以後毎月開催されるようになりました。講座内容はWord、Excelの基本、インターネット、メール、画像処理などが主であったと記憶しています。当時PCの初心者だった私にとり基礎講座はPCの知識と実技の勉強の場でありました。

大震災後、諸般の事情でしばらく休んでいましたが拠点が自宅にほど近い大みかクラブに移転したのを機にまた参加させていただき今日に至っております。

この間にWindowsは95、98、ME、XP、VISTA、7、8を経て10へと進化、アプリの多様化やSNSの急速な普及など戸惑うことばかりですが、講座世話人、講師の並々ならぬお骨折りのお陰で最新の知識と利用テクニックを学ぶことができます。

これからも時代に取り残されないよう継続して受講するつもりでおります。

支部からの お知らせ

日立社友クラブ理事会・茨城支部役員会報告

*第67期-第4回 日立社友クラブ理事会報告

- 開催日：平成30年9月6日(木)
- 議事
 - ・会員の件：9月6日時点の会員数は前回6月14日時点より4名増加し7,146名となった。
 - ・第68回日立社友クラブ総会の件：10月5日(金) ホテルニューオータニで実施。長寿祝 白寿：2名 米寿：106名 喜寿：323名
 - ・総会後理事長が庄山さんから川村さんに代わるとの報告があった。

*平成30年9月 茨城支部役員会報告

- 開催日：平成30年9月13日(木)
- 新入会員の審議：
 - 新入会員9名の審議が行われ、入会が承認された。9月5日現在で茨城支部会員数は1,040名となった。(昨年同期比10名増)

*茨城支部新入会員勧誘のお願い

会員の高齢化に伴い会員数が減少方向にあります。どうか皆様からOB会等で各同好会の活動をPRしていただき、親睦の和の拡大にご協力をお願いします。

*支部便りの電子読者募集

高齢化に伴う配達人の減少により支部便りの郵送

費が増加しています。茨城支部のHPで支部便りが閲覧可能な方で紙による配達が不要な方は、中村浩三(kozo@nakamura.email.ne.jp)まで配達不要の旨、連絡下さるようお願いいたします。

茨ネット加入のお願い

茨城支部は会員向けのメーリングリスト「茨ネット」で、会員の動向、同好会の開催案内などを発信しています。茨ネット会員へのメールによる支部総会の出欠確認により経費節減も図っています。メールアドレスをお持ちの方で未加入の方は是非加入をお願いします。無料です。加入申込みは中村浩三までお願いします。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知していますので、ご確認の上、納入下さるようお願いいたします。

訃報 衷心よりご冥福をお祈りいたします。

唐沢	洋一	平成30年	7月17日	享年81歳
辰巳	保	平成30年	8月16日	享年85歳
島	健蔵	平成30年	8月23日	享年69歳
大矢	秀夫	平成30年	9月20日	享年83歳
佐藤	剛	平成30年	9月20日	享年78歳
福地	毅	平成30年	9月21日	享年81歳
小森	真次	平成30年	9月25日	享年86歳

同好会の行事ご案内 (11月~1月)

1. 第75回歩こう会

【水戸笠原水道水源を歩く】

水戸光圀のゆかりの笠原水道水源を歩きます。

- ・開催日：平成30年11月9日(金)雨天11月28日(水)
- ・集合：水戸駅南口 午前10時
- ・コース：水戸駅南口 10:00→吉田古墳→明利酒類→薬王院→逆川緑地公園→笠原水道水源(昼食)→水戸駅南口着 13:30
全長約7.1km
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：平成30年11月2日(金)
- ・申込先：小野瀬 秀夫 Tel/Fax: 029-282-4124
E-mail: h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

2. 第78回研修会

【筑波海軍航空隊記念館、内原郷土史義勇軍資料館他】

笠間市の筑波海軍航空隊記念館、内原郷土史義勇軍(旧：満蒙開拓青少年義勇軍)資料館と、春風萬里荘、他を見学します。家族・友人同伴歓迎します。

- ・開催日：平成30年11月29日(木)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大みか支店前) 8:00
日立電鉄交通サービス南営業所 8:15
- ・帰着：大甕駅前 16:30頃の予定
- ・会費：5,500円予定(バス代、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：10月9日(火)
住所、氏名、電話番号を連絡下さい。
今回、昼食は選択です。参加者には別途問い合わせします。
- ・申込先：奥村 清 Tel/Fax: 0294-36-0308
E-mail: kiyoshi-okumura@net1.jway.ne.jp

3. 定例行事予定一覧 (開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		11月	12月	1月			
野鳥・自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	19(月)			小山ダム	9:00~	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			17(月)		久慈川河口	9:00~	
				22(火)	ひたち海浜公園	9:30~	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-3443-3577 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	14, 28 (水)	12(水) 大会 26(水)	9, 23 (水)	大みか拠点	10:00~ (大会 9:30~)	参加費：¥100/回 大会：¥1000
		30(金)	21(金)	25(金)			
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	15(木)	20(木)	17(木) 大会	大島コミュニ ティセンター	9:00~	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	5(月)	17(月)	28(月)	らぼーる ひたち	10:00~	参加費：¥1700/回
卓球クラブ	長瀬寿美雄 0294-53-8235 cho_san@estate.ocn.ne.jp	7, 14 21(水)	5, 12 19(水)	9, 16 23(水)	会瀬体育館	9:00~ 12:00	参加費, 会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	5(月)	3(月)	7(月)	大みか拠点	10:00~ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohru92@road.ocn.ne.jp	2(金) 吟行会	7(金)	11(金)	大みか拠点	9:00~ 12:00	参加費：¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	6(火)	4(火)	8(火)	大みか拠点	10:00~ 15:00	参加費：¥200/回 昼食別途
	基礎講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	13(火)	11(火)	15(火)	大みか拠点	10:00~ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	27(火)	25(火)	22(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15~ 16:00	参加費：¥700/回
	VBA活用講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	22(木)	27(木)	24(木)	大みか拠点	10:00~ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先; 安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

第14回 デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループは合同で「デジカメ写真同好会」として写真展を開催します。ご家族、ご友人お誘い合わせの上ご来場をお待ちしています。

- ・日時：11月28日(水)~12月2日(日) 9:00~17:00
(最終日は15:00まで)
- ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー

編集後記 江川さんの支部便り創刊号の発行の苦労話、その時敷かれたレールに乗って継続し、会員の強い絆になっていること本当にありがたい。また由緒ある東暁館別館を支部活動の拠点として活用させていただけたこと、改めて感謝。鈴置さんは中学時代から絵の才能を発揮され、その後、創意工夫を重ねられ、水彩画として、近くから見ると濃淡の線と面で形状は判別できないが、離れて見ると光と影を伴って形状が浮き出してくる鈴置オリジナル技法の確立は素晴らしい。 **谷口 正俊**